



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

配食サービスと高齢者見守り、生活支援システムづくりについて

(平成28年6月)

配食サービスは利用者に喜ばれている。対象と回数を広げる考えはあるか。
高齢者の見守り、生活支援システムづくりの構築が必要だと思うがどうか。

質問

循環型ごみ処理の町づくりの考えは

(平成29年3月)

ごみを燃やすだけのやり方から脱却し、ごみ減量、再利用、再資源化という循環型社会に踏み出す最良の機会だ。

きめ細やかな体制をつくるよう努力したい

配食サービスの利用者は144名。200円と低廉なのでこの料金でやっていく。高齢者の見守り、生活支援システムづくりは、配食サービスやヤクルト配達のほか、きめ細やかな体制をつくるよう努力したい。

答并

減量化に取り組んでいきたい

今後ごみ減量化には町としても取り組んでいきたい。

現在の状況は、こうなっています

新たに郵便局と地域見守り活動に関する協定書を締結した

配食サービスは166名が利用しており、対象範囲と回数は増やしていないが、利用者数は増えている。高齢者の見守り、生活支援システムづくりについては、町内の農協をはじめとした7事業所に加え、新たに町内5つの郵便局及び水戸中央郵便局と地域見守り活動に関する協定書（高齢者の異変を発見した場合、情報提供を受ける）を締結した。

分別収集などの減量化を検討してい

新ごみ処理施設は、2021年3月完成を予定している。

新施設においても、ごみの減量化は大きな課題の一つだ。一般廃棄物処理施設整備検討委員会を立ち上げ、ごみの分別収集などの減量化、リサイクルや生ごみの再資源化を検討していく。

議
会
広
報
委
員
会

委員長
副委員長
委員

阿久津 三村 藤咲 猿田 加藤 桜井
則孝 美咲 正純 和子 直子



今年こそは！と決意しスタートした新しい年も、早いもので節分を迎え、二月四日は「立春」。暦の上で春の始まりの日だそうです。確かによく見ると水仙やチューリップの芽が地面から顔を出し、寒さの中にも春の訪れを感じる今日この頃です。

季節が変わる様に、間もなく平成という時代の幕が下りようとしています。

寂しいような嬉しいような三十年という平成の時代に皆様の心に残ったものは何でしょうか。今回、皆様のお手元に届く議会だよりは、平成最後の発行になるかと思ひます。

今年は猪突猛進「いのしし」年「笑顔に真っ直ぐ、幸せに真っ直ぐ、本年が皆様にとつて笑顔あふれる一年になりますようお祈り申し上げます。

桜井 和子 記